

NC MATE4M,4H,4V(DOS版)と、NC MATE-4K II との相違点

項目	NC MATE-4M	NC MATE-4H	NC MATE-4V	NC MATE-4K II
対応OS	DOS版			Windows版
バス	Cバス		ISAバス	PCIバス
最大ステップ数	9,999			399,999
指令パルス方式	オープンコレクター方式			ラインドライバー方式
プログラム最大容量	60KB			10MB以上
搭載機能 (共通の機能は除く)	搭載していません			搭載していません
	カスタムマクロ			
	周速一定制御			
	ファイル呼び出し(G201)指令、G200のカスタムマクロ			
	3次元描画			
	軸名称変更			
	ジャンプ機能			
	自動プロ呼び出し			搭載していないが、 自動運転中でなければ、自由に自動プロを立ち上げられます。
自動レファレンス点復帰(G28)	電源立ち上げ後、一度もレファレンス点復帰していない時は、中間点からの動作は手動レファレンス点復帰と同一動作となります。			電源立ち上げ後、一度もレファレンス点復帰していない時は、中間点からの動作は立ち上げ時の位置へ早送り位置決めとなります。 (位置復帰ボタンにより、手動レファレンス点復帰と同一動作が可能)
手動介入機能	G100,G101,G102,G103,G104			G100,G104(マニュアルアブソリュート機能はありません)
ワーク座標系の設定	G92,G54,G55,G56,G57,G58,G59			G92
DNC運転機能	あり(RS232C)			あり(LANによる共有フォルダ方式)
Mコード出力	Mコードと移動指令を同一ブロックに指令した場合、Mコードの動作と同時に移動指令が実行されます。			Mコードと移動指令を同一ブロックに指令した場合、Mコードの動作完了後、移動指令が実行されます。
外付け押しボタン操作	一部操作できない機能(モード)があります。			パソコン画面とほぼ同一の操作を外付け押しボタンで行うことができます。
オプション基板	UCT-ATEN基板(手動パルスハンドル操作用)			相当機能が、搭載されています。 (フルクローズドループ機能は搭載していません)
	DAFV-A基板(Sコードアナログ出力用)			
	CCLG-A基板(クッション機能、フルクローズドループ機能用)			
	PLSCONV-A基板(パルス変換とラインドライバー用)			

NC MATE-4K II パソコン推奨環境

OS	Windows Vista	CPU : 2GHz, メモリ : 1GB以上
	Windows XP	CPU : 1.3GHz, メモリ : 512MB以上
	Windows 2000	CPU : 700MHz, メモリ : 256MB以上
バス	PCIバス搭載(PCIショートサイズが入るもの)	
画面設定	1024*768ピクセル	